

臨地実習（小児看護学）

[実習] 1年 後期 必修 90時間 2単位

《担当者名》○三国久美[mikuni@hoku-iryo-u.ac.jp]
木浪智佳子[kinami@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

特論や演習での学習をもとに、実習課題を明確にし、課題研究とも関連づけて小児看護の実践の場を選択し実習する。小児と家族の総合的なアセスメント、直接的看護ケアの提供、小児医療保健福祉システムにおける社会資源の効果的な活用、援助内容の振り返りと評価を通してより高度の実践力を養う。

【学修目標】

自ら設定した実習課題に沿って実習に臨み、提供したケアの内容を振り返り、より質の高い小児看護実践のあり方を具体的に考えることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	1.小児とその家族を総合的にアセスメントし、ケアプランの作成ができる。 2.適切な看護技術の提供と社会資源の効果的な活用により、小児と家族のQOLの向上を図ることができる。 3.提供したケア内容の振り返りと評価を行い、より質の高い小児看護実践のあり方を考察できる。	三国 木浪
	実習場所	学生の実習課題に合わせて病院または地域の機関を選択する。	三国 木浪
	実習期間	おおむね2週間とする。 ただし、集中実習か分散実習かについては学生の実習課題や学習状況によって決定する。	三国 木浪

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成状況40%、実習レポート60%。

【学修の準備】

実習に先立ち、実習課題に沿った実習計画を立案する。文献学習など、日々の実習で必要となる事前学習を行ったうえで実習に臨む。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。